

ご存じですか！文化財

46

「阿弥陀如来立像」

あみだにょらいりゆうぞう

市指定有形文化財

昭和30年11月27日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1221)



所在地 串作162 観音寺

今回ご紹介するのは、串作地内にある靈照山無量寿院観音寺の寺宝、「木造寄木造阿弥陀如来立像」です。

本寺は、会の川の自然堤防に堆積した砂丘上に建立された真言宗智山派の寺院です。創建は天文13(1544)年とも同18年とも伝えられ、室町時代後期の古刹として発展しました。しかし、本寺は度々の火災に遭い本堂、庫裏をはじめ諸堂宇などは消失していることから、その歴史を確認することは困難とのことです。

文化財指定の「阿弥陀如来立像」は、木造寄木造りの立像で、像高77cm。鎌倉時代中期の作といわれ、光背は舟形渦巻模様となっていて、唇の水平線が背後の襟より上位で顎と襟がほぼ同一線に配されています。衣文は金漆箔に精緻な截金文様が施され技巧の粋がつくされていて、鎌倉中期の仏像の特徴を顕著に表しています。

本立像は現在は、漆箔の厨子に安置され、秘仏として一般にはご開帳されていませんが、穏やかなお姿は時空を超えて慈しみの気持ちを与えてくれます。



紹介者 田沼 宣喜さん(串作)